

自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2009.10.15 No.6

北海道ボランティア・レンジャー協議会

秋の森の匂いをかごう

匂いを感じるメカニズム

10月の観察会のテーマは「秋の森の匂いをかごう」です。私たちは自然を五感によって受け取り、感じ、判断・理解します。五感とは視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚です。今回の観察会は嗅覚を使って秋の森を楽しみます。

ところで、臭いを感じ取るということはどういうことなのでしょう。

- 五感の中で最も複雑で謎の多いといわれるのが匂いを感じ取る嗅覚です。匂い物質は数十万種類あるといわれていますが、私たちが普通に感じる匂いも多くの場合100種類以上の「匂い物質」の混合物です。

この匂い物質を判定するのは言うまでもなく脳です。息をすうと空気と一緒に匂いの分子が鼻に入り、鼻の粘膜にある嗅細胞を刺激します。その刺激は一種の電気信号となり、大脳皮質までとどきます。大脳皮質は生まれ育った環境、様々な経験、身に付いた文化、体調など後天的な情報がぎっしりつまつていて、脳が匂いの電気信号を快か不快か判断するため、人さまざま判断をします。ですから、ある匂いに対し、ある人は嫌な匂いと感じたり、またある人はいい匂いと感じたりするのです。

このようなことから、嗅覚はつぎのようにまとめられます。

- ・嗅覚には個人差があります。匂いによって、鼻のきく人きかない人ができます。
 - ・嗅覚は訓練によって伸ばすことができます。香水の調合をする人はまさに訓練の賜物です。
 - ・嗅覚は匂いに慣れ順応しやすく、嗅細胞は疲れやすい性質を持っています。
- 秋の森の匂いには、複合された匂いもあるし、単体の匂いもあるかもしれません。森の中で次のような匂いを確認してみましょう。

・カツラの葉

秋の森の定番。葉を乾燥して粉にして抹香をつくります。

・キタコブシの枯れ枝や赤い種子

枯れ枝を折ったり、種子の皮を剥がし、匂いを嗅いでみましょう。モクレン科の香りです。

・ヤチダモやアオダモの種子

地面に落ちている種子を見つけ、種皮をちぎって匂いを嗅いでみましょう。

・マツ類のヤニ

トドマツのヤニ袋を押してみると粘液状のヤニができます。

・ノラニンジンの花

花を指先でこすり匂いを嗅いでみましょう。セリ科の植物です。

・オオチドメの葉

葉をちぎってみましょう。人によって快の匂いか、不快の匂いか分かれるところです。

10月あれこれ

●紅葉

紅葉は古くは「黄葉」と書いていました。それは、色づくことを表す自動詞が「もみつ」で、その名詞形が「もみち」でした。日本の森林には黄・褐色系に色づく樹木も多く「万葉集」での「もみち」はほとんど全部が黄葉に由来しています。紅葉は「源氏物語」のころから定着したもののらしく、貴族社会の優雅な暮らしの中で、その時代の人々の心の感じ方が黄葉から紅葉に変化したのでしょうか。

●ユキムシ

公園内では10月1日にユキムシ（ふれあい交流館調べ）を観察しました。札幌のユキムシの初見は10月8日ごろですが、日平均気温が10度ぐらいになる中旬以降が最盛期のようです。

ユキムシはアブラムシの仲間でタマワタムシ科に属するアブラムシをすべて「ユキムシ」と呼んでいて、中でも大きい一般的な種類を「トドノネオオワタムシ」といいます。そして、ユキムシと呼ぶのはつまり飛んでいるときだけで、トドマツの木からヤチダモの木に移動飛行する時です。このトドノネオオワタムシは1年に5回世代交代をします。ですから、春に孵化する第1世代から4世代目にユキムシになるわけです。

リスたちの冬越し

木の枝に何かの気配を感じ見上げると、エゾリスがいました。何かを食べているのか盛んに口を動かしています。冬を前に栄養物を体にためこんでいるのでしょうか。

公園内で観察されるリスの仲間はエゾリス、シマリス、エゾモモンガの3種ですが、比較的目にすることができるエゾリスとシマリスの冬越しを紹介します。

《エゾリス》

エゾリスは大木の空洞か枝の根元に小枝を組み合わせて作ったポール状の巣のどちらかを利用し、冬眠はせず冬でも活動しています。基本的に単独生活者で、群れる習性はありません。

秋に木の実を集め保存しておき、冬の間はそれを掘り出し、食べながら冬を越します。中には掘り忘れることもあります、植物の分布の広がりを助けています。

《シマリス》

シマリスは地下巣と樹洞巣の両方を利用しますが、冬眠中は必ず地下巣を使います。秋になると冬ごもりの巣にマツの種子やドングリなどを貯めます。その量はバケツ2杯分にもなると言われます。気温が15℃以下になると地下の生活に移ります。冬眠中は時々目覚めて貯めた食物をたべたり、排泄もします。

11月の観察会予定

◆秋のありがとう観察会

11月8日(日) 10:00~12:30 ふれあい交流館集合 ゴミ袋、軍手持参

11月に入ると、気温も下がり、木々の葉もほとんど落ち雪の季節の到来です。雪が降る前の公園内を観察会と平行してゴミ拾いもしましょう。近年、公園を利用する人たちのマナーもよくなり、捨てられているゴミも本当に少なくなりました。